



長野市芸術館  
NAGANO CITY ARTS CENTER

世界最高峰！  
オーボエ界のスーパー・スター☆

# ハインツ・ホリガーと仲間たち

Heinz Holliger

オーボエ

ハインツ・ホリガー

Heinz Holliger

マリー＝リーゼ・シュプバッハ

Marie-Lise Schüpbach

荒木 奏美

Kanami Araki

笙

宮田 まゆみ

Mayumi Miyata

2017年

6/8 木

19:00開演  
(18:30開場)

長野市芸術館リサイタルホール

¥5,000 (全席指定・税込)

※未就学児入場不可

NCACチケットオンライン先行発売 2017年3月16日(木) 10:00～  
一般発売 3月18日(土) 10:00～

NCACチケットオンライン[インターネット予約] <http://www.nagano-arts.or.jp/>  
NCACチケットセンター TEL026-219-3191 [10:00～19:00/火曜定休]  
●ながの東急プレイガイド【窓口販売】 ●ヒオキ楽器本店シャコンヌ【窓口販売】

◆ベートーヴェン：2本のオーボエとイングリッシュホルンのためのラ・チ・ダレム変奏曲  
(モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』より「お手をどうぞ」による変奏曲)

[1st ob:ホリガー／2nd ob:荒木／E.Hr: シュプバッハ]

◆武満 徹：オーボエと笙のためのディスタンス(ホリガーに献呈された作品)

[ob:ホリガー／笙:宮田]

◆ホリガー：《エール》—フィリップ・ジャコテの7篇の詩に基づくオーボエとコーラングレのためのレクチュールより  
I II III IV V (シュプバッハに献呈された作品)

[ob:ホリガー／E.Hr:シュプバッハ]

◆イサン・ユン：2本のオーボエのためのインヴェンション よりトリル [1st ob:ホリガー／2nd ob:荒木]

ハーモニー [1st ob:ホリガー／2nd ob:シュプバッハ]

◆古典曲：盤渉調調子(ばんしきちょうのちょうし) [笙:宮田]

◆ベートーヴェン：2本のオーボエとイングリッシュホルンのための三重奏曲 ハ長調 op.87

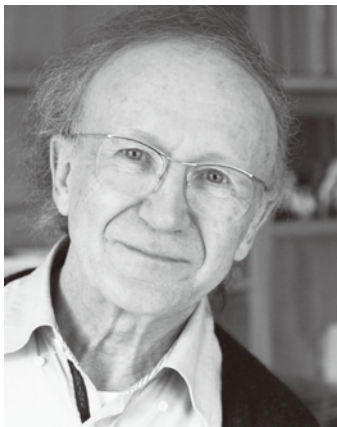
[1st ob:ホリガー／2nd ob:荒木／E.Hr:シュプバッハ]

●出演者・曲目・その他に変更が生じる場合がございます。●不可抗力による公演中止の場合を除き、本券の払い戻し、他公演との交換はいたしません。●未就学児のご入場はご遠慮いただきます。●車椅子席をご希望のお客様はNCACチケットセンターへお問い合わせください。●駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催：一般財団法人長野市文化芸術振興財団

世界最高峰のオーボエ奏者であり、作曲家、指揮者としても活躍するハインツ・ホリガーが、ヨーロッパと日本から彼が信頼するオーボエ奏者を招き、さらに東洋の伝統楽器である笙奏者でホリガーが愛してやまない宮田まゆみを迎えて、魅力的かつ独創的なプログラムを長野市美術館で披露します。

プログラムの中には、親交のあった日本を代表する作曲家・武満徹がホリガーのために書いた《オーボエと笙のためのディスタンス》や、ホリガー自身が愛弟子であるシュプバッハに捧げた《エール》も含まれており興味は尽きません。ギュっとした濃密体験を、リサイタルホールで。贅沢に。ぜひ。



## ハインツ・ホリガー

オーボエ／作曲

Heinz Holliger, oboe : composition

ハインツ・ホリガーは、現代の最も多彩で非凡な音楽家の一人といえる。彼は、ジュネーブやミュンヘンの国際オーボエコンクールで優勝した後、すぐに5大陸の主要なコンサート・ホールで演奏し始めた無比の国際キャリアの持ち主である。

また、指揮者として、長年ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ヨーロッパ室内管弦楽団などの世界の主要なオーケストラや室内楽団と共演している。作曲家としても評価が高く、2015年にはサントリーホールから委嘱を受け、自身の指揮で作品を披露した。

ザルツブルク音楽祭では、2012年にレジデント・アーティストとして作曲家、オーボエ奏者、指揮者として活躍した。多くのCDがテルデック、フィリップス、ECMレーベル、SWR/ヘンスラー・レーベルから発売している。



## マリー＝リーゼ・シュプバッハ

オーボエ／イングリッシュホルン

Marie-Lise Schupbach, oboe : englishhorn

チューリッヒ生まれ。オーボエをマルセル・サイエ とアンドレ・ラウルに師事する。その後、ドイツのフライブルクにてハインツ・ホリガーに師事、音楽院を卒業。ケルン放送交響楽団にてオーケストラでのキャリアを始める。1979年にソロ・コーラングレ奏者としてミュンヘンのバイエルン放送交響楽団に入団。一方、ベルリン・フィルやウィーン・フィルにも客演奏者として招かれるほか、ルツェルン祝祭管弦楽団のメンバーとしても活躍。2008年には、バイエルン放送交響楽団の仲間と共に、室内楽フェスティバル「erstKlassik am Sarnersee」を創設し、著名な演奏家たちと共に魅力あふれるコンサートを披露している。



## 荒木 奏美

オーボエ

Kanami Araki, oboe

2015年、第11回ソニー国際オーボエコンクール・軽井沢において審査員満場一致で日本人初の第1位(大賀賞)、聴衆賞(軽井沢町長賞)を受賞した期待の若手オーボエ奏者。これまでに数多くのコンクールに優勝、入賞を重ね大きな栄冠を勝ち得た。1993年生まれ。茨城県出身。9歳よりオーボエを始める。

東京藝術大学を首席で卒業後、同大学院修士課程で研鑽を続けながら2015年6月より東京交響楽団首席オーボエ奏者を務めている。

これまでにオーボエを坂本真紀、成田恵子、和久井仁、小畑善昭、青山聖樹の各氏に師事。



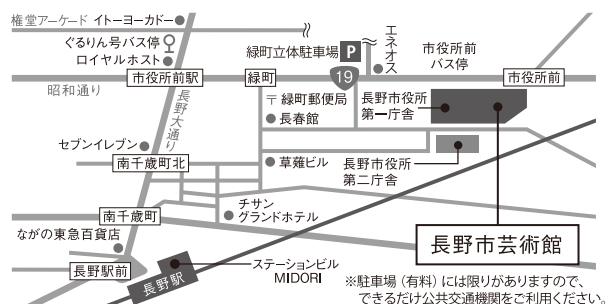
## 宮田まゆみ

笙

Mayumi Miyata, sho

東洋の伝統楽器「笙」を国際的に広めた第一人者。古典雅楽はもとより、武満徹、ジョン・ケージ、細川俊夫など現代作品の初演も数多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、C.デュワ指揮N響、A.プレヴィン指揮ニューヨーク・フィル、V.アシュケナージ指揮チェコ・フィル、大野和士指揮ベルギー王立歌劇場管、J.ノット指揮バンベルク響、BBC響、WRDケルン放送響ほか国内外のトップオーケストラと数多く共演。加えて、ザルツブルク、ウィーン・モデルン、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、パリの秋、アヴィニヨン、ダルムシュタット、ドナウエッシング、タングルウッドをはじめとする各国の音楽祭への参加、ウィーン、パリ、アムステルダム、ミラノ、ニューヨークなどでリサイタルと幅広く活躍している。

公演についてのお問い合わせ: (一財)長野市文化芸術振興財団 <http://www.nagano-arts.or.jp/>  
TEL:026-219-3100 [9:00~19:00/火曜定休] [info@nagano-arts.or.jp](mailto:info@nagano-arts.or.jp)



長野市美術館  
NAGANO CITY ARTS CENTER

〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地

電車 長野電鉄「市役所前」駅下車。2番出口より昭和通りを東へ徒歩約3分

徒歩 JR長野駅善光寺口より長野大通りを北へ。「市役所前駅交差点」を右折して昭和通りを東へ。約12分

バス ◎長野駅前バス停(C-16)より、ぐるりん号で「市役所入口」下車。通りを渡って徒歩約3分

◎長野駅④番乗り場より、45番市役所経由北屋島行き、または46番大豆島東団地行きに乗り「市役所前」下車。通りを渡って目の前

車 ◎須坂長野東ICより約20分(8km) ◎上信越自動車道・長野ICより約30分(10km)

※駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。